

徳川時代後期家族法関係史料(六)

—永青文庫所蔵『離婚并義絶帳』(三)—

高木 侃

解題

永青文庫所蔵『離婚并義絶帳』(熊本大学付属図書館寄託文書、一冊、請求番号十二、十七、十八)の一五丁から一六九丁までを、引き続き翻刻する。丁数については煩瑣にわたるので省略した。史料には算用数字で番号を付したが、離婚でないものも若干混在しており、これには漢数字を付した。

なお、史料を精査して、離婚理由、離婚についての申談の有無、離婚後義絶の有無などの統計的な分析は次回にゆずる。

本小稿がなるは、偏に財団法人永青文庫および文書寄託先である熊本大学付属図書館のご好意、同大学名誉教授松本寿三郎・同永青文庫史料専門員川口恭子両氏のご教示に

よるもので、記して感謝の意を表する。

〔付記〕

本稿は平成十八年度専修大学研究助成(個別研究)をえた「徳川時代の内縁・妾・義絶に関する研究」の成果の一部である。特記して感謝の意を表したい。

史料目次

172	安政六年十月	額田権次後妻離婚につき上司達
173	安政七年正月	日隈次雄後妻離婚につき覚
174	安政七年三月	丹羽源之允妻離婚につき口上覚
175	安政七年三月	同 妻方口上覚
176	安政七年七月	奥村次郎右衛門二女離婚につき上司

177	安政七年八月	同 夫方口上覚	達	194	文久二年正月	沢村衛仕妹離婚につき口上覚
178	安政七年九月	岩間小十郎妻離婚につき口上覚		195	文久二年三月	筑紫弥一左衛門娘離婚につき口上覚
179	安政七年九月	同 妻方口上覚		196	文久二年四月	熊谷忠右衛門娘離婚につき口上覚
180	万延元年十二月	嶋庄右衛門嫡女離婚につき口上司達		197	文久二年五月	山室宗意妻離婚につき口上覚
181	万延元年十二月	柏原新兵衛妻離婚につき口上覚		198	文久二年五月	同 妻方口上覚
182	万延元年十二月	同 夫方口上覚		199	文久二年八月	野村左一右衛門娘離婚につき口上覚
183	万延二年正月	築瀬騏兵衛娘末期離婚につき覚		200	文久二年八月	三野四郎左衛門妻離婚につき覚
184	万延二年正月	同 夫方口上覚		201	文久二年九月	神足少五郎妻離婚につき覚
185	万延二年二月	中村左助二女離婚につき覚		202	文久二年九月	関七太郎娘離婚につき覚
186	万延二年六月	内田新右衛門娘末期離婚につき口上		203	文久二年九月	上月捨之進妻離婚につき覚
187	万延二年六月	同 夫方口上覚		204	文久二年九月	長岡幾次郎養伯母離婚につき口上覚
188	文久元年七月	西山大衛養叔母再縁離婚につき口上		205	文久二年九月	同 夫方覚並びに口上司達
189	文久元年八月	米田源二郎妻離婚につき覚		206	文久二年九月	中根丈右衛門妻離婚につき口上覚
190	文久元年八月	大塚七郎右衛門後妻離婚につき同役		207	文久二年十二月	緒方伝内妹他所縁組離婚につき口上
191	文久元年八月	都築輔佐彦後妻縁組嫁娶前離婚につ		208	文久二年十二月	覚
192	文久元年十一月	平野三郎兵衛娘離婚につき達		209	文久二年十二月	財津権十郎妻離婚につき口上覚
192	文久二年正月	釘本藤兵衛後妻末期離婚につき口上		210	文久二年十二月	安富金九郎妻離婚につき口上司達
				211	文久三年六月	白木大助養伯母離婚につき口上覚
				212	文久三年六月	竹原八左衛門後妻離婚につき従弟達
				213	文久三年七月	同 妻方口上司達
				214	文久三年八月	松下亀記妻末期離婚につき覚
						嵯峨三郎右衛門養妹縁組後夫病死破
						談につき覚

- 234 慶応二年三月 可児才助娘離婚につき口上覚
- 233 慶応二年三月 大矢野次郎八養妹後妻離婚につき口上覚
- 232 慶応二年二月 沼田勘解由妹離婚につき口上覚
- 231 慶応元年十二月 新居熊次郎妻末期離婚につき覚
- 230 慶応元年九月 同 妻方口上覚
- 229 慶応元年九月 中根丈右衛門養妹離婚につき口上覚
- 228 慶応元年六月 尾藤九平妻離婚につき組より達
- 227 慶応元年閏五月 一村市郎右衛門大伯母離婚につき覚
- 226 〔元治元年〕八月 中路内蔵之助育伯母離婚につき上司達
- 225 〔元治元年〕八月 宮部瑠七郎嫡女後妻離婚につき上司達
- 224 〔元治元年〕六月 中山金石衛門二女離婚につき口上覚
- 223 〔元治元年〕六月 齊藤文太夫伯母離婚につき達
- 222 〔元治元年〕六月 榎嶋半之允妻離婚につき縁家達
- 221 文久三年十月 渡辺一郎右衛門娘離婚につき口上覚
- 220 文久三年九月 井上平十郎妹後妻離婚につき口上覚
- 219 文久三年九月 同 夫方口上覚
- 218 文久三年九月 河方辰五郎妻離婚につき覚
- 217 文久三年九月 志水又七養妹後妻離婚につき覚
- 216 文久三年八月 出田作左衛門養妹離婚につき覚
- 215 文久三年八月 北村甚九郎二女離婚につき覚

- 235 慶応二年八月 藪凶書養妹離婚につき口上覚
- 236 慶応二年八月 同 夫方口上覚
- 237 慶応二年十一月 氏家甚左衛門離婚につき縁家達
- 238 慶応三年正月 下川辺常次娘離婚につき口上覚
- 239 慶応三年正月 増田準次郎妻離婚につき覚
- 240 慶応三年四月 道家角左衛門娘離婚につき覚
- 241 慶応三年六月 的場角兵衛妻離婚につき縁家達
- 242 慶応三年七月 財津源之進養姪離婚につき口上覚
- 243 慶応三年七月 長尾権五郎妻離婚につき口上覚
- 244 慶応三年八月 長谷川七兵衛妻末期離婚につき口上覚
- 245 慶応三年八月 同 妻方覚

史料

172 安政六年十月 額田権次後妻離婚につき上司達

御奉行衆中

朽木内匠

三淵志津摩

拙者共支配額田権次後妻、高瀬善兵衛妹病氣相成、家事之世話等届兼候二付、申談、相引致離縁候、尤義絶はいたし不申段相達候、此段申達候、以上

十月十二日

安政六年十月十三日

右機局今朝洪儀(マ)二入居候二付、達込候事

173 安政七年正月 日隈次雄後妻離婚につき覚

覚

日隈李之允嫡子日隈次雄儀、上野善左衛門育上野栄喜孫女と後妻縁組仕置候処、家風ニ合不申候間、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申由、此段御達仕候、以上

正月

留守代聞

□ 岡 忠左衛門

正月廿五日

右之通達有之候二付、機密聞え達込候事

174 安政七年三月 丹羽源之允妻離婚につき口上覚

口上之覚

私嫡子丹羽源之允妻、志水亀之允大叔母にて御座候処、兼々病氣ニ御座候間、往々家事等之世話不吞込ニ御座候間、申談、相引離縁仕度奉存候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

三月

丹羽 源兵衛

安政七年三月十五日

右書付将監殿より達有之候二付、機密聞え達込候事

175 安政七年三月 同 妻方口上覚

口上之覚

私養方之大叔母、丹羽源兵衛嫡子丹羽源之允と縁組仕置申候処、病氣ニ罷成、家事之世話等届兼候二付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

三月

志水 亀之允

三月五日

右書付坂崎忠左衛門より添翰ヲ以達有之候二付、控置、機密聞え達込候事

176 安政七年七月 奥村次郎右衛門二女離婚につき上司達

口上之覚

奥村次郎右衛門二女、飯田四郎助養子飯田角右衛門と縁組仕置候処、不有附二付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

七月

奥村次郎右衛門留守支配

松本 李十郎

七月廿六日

右書付御裏方御用人より添翰ヲ以達有之候二付、控置、機

局へ達込候事、以上

177 安政七年八月 同 夫方口上覚

覚

私養子飯田角右衛門儀、奥村次郎右衛門娘と嫁娶仕置候处、病氣ニ罷成、家事之世話等届兼候間、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

八月

飯田 四郎助

万延元年八月八日

右書付堀丹右衛門方より添翰にて達有之候ニ付、控置、機密間え達込候事

178 安政七年九月 岩間小十郎妻離婚につき口上覚

口上之覚

私同姓岩間小十郎儀、林富之助娘と縁組仕置申候处、内話申談之筋有之、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

九月廿一日

岩間 権之助

右書付有吉将監殿添翰を以達有之候

179 安政七年九月 同 妻方口上覚

口上之覚

私娘、岩間小十郎と縁組仕置候处、内話申談之筋有之、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

九月

林 富之助

右書付大木織部添翰ヲ以達有之候、

九月廿二日

右式稜、控置、機密間え達込候事

180 万延元年十二月 嶋庄右衛門嫡女離婚につき上司達

御奉行衆中

朽木 内 匠
三 淵 志津摩
有 吉市左衛門

拙者共支配嶋庄右衛門嫡女、田中銳之助と致縁組置候处、家風ニ合兼、申談、相引離縁仕候、尤義絶はいたし不申段、庄右衛門留守支配元田傳之丞より相達候、此段申達候、以上

十二月廿七日

万延元年十二月廿七日

右別返事来状、機密間え達込候之事

181 万延元年十二月 柏原新兵衛妻離婚につき口上覚

口上之覚

私親類柏原新兵衛儀、長谷川仁右衛門娘と縁組仕置候処、病氣ニ付、申談、相引離縁仕候、此段御達仕候、以上

十二月

岩間 小十郎

万延元年十二月廿七日

右書付敷三左衛門添翰ヲ以達有之候ニ付、別返事来状機密問え達込候事

182 万延元年十二月 同 夫方口上覚

拙者支配長谷川仁右衛門娘、柏原新兵衛後妻ニ遣置候処、病氣ニ相成、申談、相引致離縁候段相達候、此段申達候、以上

十二月廿八日

朽木 内匠

御奉行衆中

三淵 志津摩 有 吉市左衛門

万延元年十二月廿八日
右控置、別返事ニシテ来状候、機密問へ達込候事

183 万延二年正月 築瀬驍兵衛娘末期離婚につき覚

覚

私娘、弓削五郎次嫡子弓削勘十郎妻、安政二年十二月縁組仕置候処、右勘十郎儀存生之内存寄御座候間、及末期離縁仕引取せ申候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

正月

築瀬 驍兵衛

正月十八日

右書付自身被相達候ニ付、機局へ達込候事

184 万延二年正月 同 夫方口上覚

覚

私嫡子弓削勘十郎妻、築瀬驍兵衛嫡女と安政二年十二月嫁娶仕置候処、右勘十郎儀存生之内存寄御座候間、及末期離縁仕、向方え差返申候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

正月

弓削 五郎次

右之書付敷三左衛門より添翰ヲ以被相達候ニ付、控置、機局達込候事

185 万延二年二月 中村左助二女離婚につき覚

覚

私二女杉谷平七郎妻ニ安政六年九月遣置申候処、病氣ニ罷

成、家事之世話等届兼候ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

二月

中村 左 助

右書付敷三左衛門より達有之候ニ付、控置、機局へ達込候事

186 万延二年六月 内田新右衛門娘末期離婚につき口上覚

口上之覚

内田新右衛門娘、小川玄民甥小川玄信妻にて御座候処、玄信儀存生之内相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

六月

留守支配

内田 新之允

六月十八日
右書付御裏方御用人より添翰ヲ以達有之候ニ付、右同断

187 万延二年六月 同 夫方口上覚

口上之覚

私甥小川玄信妻、内田新右衛門娘にて御座候処、玄信儀存命中致離縁候段申置候間、熟談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

六月

小川 玄 民

本行書付御医師触役より参達ニ付、控置候之事、但六月十九日也

188 文久元年七月 西山大衛養叔母再縁離婚につき口上覚

口上之覚

私養方之叔母、万延元年八月岡田平八名跡相続之二男岡田左平次と再縁組仕置候処、家風不吞込ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

七月

西山 大 衛

敷 三左衛門殿

文久元年七月十日

右書付敷三左衛門添翰ヲ以達有之候ニ付、控置、機密問え達込候事

189 文久元年八月 米田源二郎妻離婚につき覚

覚

私嫡子米田源二郎儀、益田丈右衛門娘と縁組仕置申候処、家風合不申候ニ付、此節双方和談ヲ以、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

八月

米 田 勘十郎

文久元年八月十九日

右書付敷三左衛門より添翰ヲ以達有之候ニ付、控置、機密
間え達込候事

八月

都築 四郎

八月廿七日

右書付御中老添翰ヲ以達有之候ニ付、控置、機密間え達込
候事

189 文久元年八月 大塚七郎右衛門後妻離婚につき同役口

上覚

192 文久元年十一月 平野三郎兵衛娘離婚につき達

口上之覚

同役大塚七郎右衛門儀、小林半右衛門妹と後妻縁組仕居申
候処、病氣ニ罷成、家事筋届兼申候ニ付、申談、相引離縁
仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

平野三郎兵衛娘、越生儀兵衛妻ニ嘉永二年四月遣置候処、
家風不吞込ニ付、申談、相引致離縁候、尤義絶はいたし不
申候段相達申候、以上

八月

松岡 甚九郎

十一月十二日

須佐美 権之允
寺尾九郎左衛門

山崎 平之助

文久元年十一月十三日

右覚書右兩人より添翰ヲ以相達候ニ付、控置、機密間え達
込候事

右控置、別返事ニシテ来状は機密間え達込候事

190 文久元年八月 都築輔佐彦後妻縁組嫁娶前離婚につき

覚

文久二壬戌年

覚

口上之覚

私名跡相統之二男都築輔佐彦儀、田中銳之介妹と後妻縁組
仕、未夕嫁娶は仕不申候処、家風ニ合兼、相引離縁仕候、
尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

釘本藤兵衛後妻、田代春台養方之叔母にて御座候処、藤兵
衛儀一昨冬出立之節、叔父松田喜平え申置候筋も御座候間、
末期離縁仕、郷方え差返申候、此段御達仕候、以上

正月

病死仕候釘本藤兵衛留守支配

中山平左衛門殿
小堀沿助

正月十七日

右書付谷内藏允より添翰にて達有之候二付、機局へ達込候事

三月

弥一左衛門留守支配

寺本八郎助

三月廿七日

右書付長岡監物殿より達有之候二付、控置、機密間へ達込候事

194 文久二年正月 沢村衛士妹離婚につき口上覚

口上之覚

私妹松下亀記と縁組仕置候処、内輪不吞込之儀有之候二付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

正月

沢村衛士

正月晦日

右書付坂崎忠左衛門添翰ヲ以達有之候二付、控置、機密間へ達込候事

195 文久二年三月 筑紫弥一左衛門娘離婚につき上司覚

覚

筑紫弥一左衛門娘儀、中川善左衛門嫡子中川敬太郎妻にて御座候処、不有付にて、此節相引離縁仕、弥一左衛門方へ引取せ申候、此段御達仕候、以上

196 文久二年四月 熊谷忠右衛門娘離婚につき上司達

覚

熊谷忠右衛門娘、八代御城附岩間多膳次姫二縁組仕置候処、病氣ニ罷成、此節合引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

四月

熊谷忠右衛門留守支配

長尾安右衛門

五月六日

右書付御小姓頭中より添翰にて達有之候二付、控置、機密間へ達込候事

197 文久二年五月 山室宗意妻離婚につき口上覚

半切之書付也

口上之覚

私名跡相続之二男山室宗意妻、上月八右衛門養女にて御座

候、家風ニ合兼候ニ付、申談、相引仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

五月

御医師触役也

山室宗全

文久二戊年五月廿日

右書付機密間へ達込候事

198 文久二年五月 同 妻方口上覚

口上之覚

私養女、山室宗全名跡相統之二男山室宗意と縁組仕置候処、内話様子御座候間、双方申談、相引仕候、此段御達仕候、以上

五月

上 月 八右衛門

文久二年五月廿二日

右書付數三左衛門添翰ニて達有之候ニ付、控置、機密間え達込候事

199 文久二年八月 野村左一右衛門娘離婚につき口上覚

口上之覚

私娘、荒瀬角兵衛嫡子荒瀬伝八と縁組仕置候処、内輪不吞込之儀有之候ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不候、

此段被成御達可被下候、以上

八月

野村左一右衛門

文久二年八月九日

右書付御裏方御用人添翰ニて相達候ニ付、控置、機密間え達込候事

200 文久二年八月 三野四郎左衛門妻離婚につき覚

覚

私妻、細川主米輔様家来佐久間広次と致縁組居候処、彼之家風ニ合兼、此節相引離縁仕候、尤依之義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

八月

三野四郎左衛門

文久二年八月十六日

右書付沢村衛士・田中典儀添翰ヲ以達有之候ニ付、控置、機密間え達込候事

201 文久二年九月 神足少五郎妻離婚につき覚

覚

私嫡子神足少五郎え、野田弥三左衛門妹を文久元年三月嫁娶仕置候処、病氣ニ罷成、家事之世話等届兼候ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

九月

文久二年九月五日

神足少助

右書付御中老添翰を以達有之候二付、控置、機密之間え達込候事

上

九月

上月十郎右衛門

文久二年九月廿一日
右書付長岡監物殿より達有之候二付、控置、機密間え達込候事

202 文久二年九月 関七太郎娘離婚につき覚

覚

関七太郎娘、長岡監物殿家来松岡四郎兵衛忰松岡多志磨妻二、文久元年十一月遣置申候処、病氣二罷成、家事世話届兼申候二付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

九月

関七太郎留守支配

関 健之助

文久二年九月廿日

右書付御小姓頭添翰にて相達候二付、控置、機密之間え達込候事

九月

長岡 幾次郎

文久二年九月廿五日
右書付田中典儀・沢村衛士より添翰を以達有之候二付、機密間え達込候事

205 文久二年九月 同夫方覚並びに上司達

覚

203 文久二年九月 上月捨之進妻離婚につき覚
覚
私養子上月捨之進、中根丈右衛門養妹と縁組仕せ置候処、内輪様子有之、以熟談、相引離縁仕候、此段御達仕候、以

私同姓高見高熊隠居高見嶋之助妻え、長岡幾次郎養方之伯母を、文久二年五月嫁娶仕置候処、家風ニ合兼候付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

九月

高見 喜左衛門

高見尚熊隠居高見嶋之助妻相引離縁之儀ニ付、高見喜左衛門より相達申候、別紙一通相達申候、以上

九月廿五日

堀 丹右衛門

御奉行衆中

被 仰聞通致承知、

本文高見嶋之助妻相引離縁之儀は、御聞置ニテ

此方え御達ニおよび不申候間、左様御承知候様、

依て別紙は致返進候、以上

九月廿七日

206 文久二年九月 中根丈右衛門妻離婚につき口上覚

口上之覚

私妻松野又右衛門養方之妹縁組仕置候処、家事之世話届兼、

申談、相引仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

十一月

中根 丈右衛門

十一月廿七日

右書付沢村衛士・田中典儀より添翰を以達有之候付、機密

問え達込候事

207 文久二年十二月 緒方伝内妹他所縁組離婚につき口上

覚

口上之覚

私妹中川修理太夫様御家来小嶋彦左衛門嫡子小嶋鹿太郎と縁組仕置申候処、妹儀向方家風不吞込ニ御座候ニ付、相引離縁仕候付、此段宜敷被成御達可被下候、以上

十二月

緒方 伝内

橋爪 三右衛門殿

武 田 一 藏殿

文久二年十二月六日

右書付組脇橋爪三右衛門より相達候、然処離縁達は御物頭

列以上達込之究ニ候得共、緒方伝内妹は他所縁組之事ニ付、

機密間打合達込候事

208 文久二年十二月 財津権十郎妻離婚につき口上覚

口上之覚

私相統之二男財津権十郎儀、加々尾市太娘と縁組奉願置候

処、病氣ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此

段御達仕候、以上

十二月

財津 儀左衛門

十二月十九日

右書付御裏方御用人添翰ヲ以被相達候付、機局え達込候事

209 文久二年十二月 安富金九郎妻離婚につき上司達

御奉行衆中

牧多門助

志水新丞

安富金九郎儀未藤新右衛門妹と、文久元年五月嫁娶いたし居候処、家風ニ合兼申候付、申談、相引致離縁候、尤義絶はいたし不申段、同人縁家町喜四郎より相達申候、此段御達申候、以上

五月十七日 同日機密聞え達之

210 文久三年六月 白木大助養伯母離婚につき口上覚

口上之覚

私縁家白木大助養方之伯母、水野弥助妻ニ縁組仕置候処、相引縁仕候、尤義絶ハ仕不申候、此段御達仕候、以上

六月三日

山崎平之助

文久三年亥六月四日

右書付御中老中より副翰を以達有之候ニ付、機局え達込候事

211 文久三年六月 竹原八左衛門後妻離婚につき従弟達

覚

私従弟竹原八左衛門儀、中村左助養方之妹と安政六年三月後妻縁組仕置申候処、病氣ニ罷成、家事之世話等届兼申候

二付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

六月

水野 伝

212 文久三年六月 同 妻方上司達

覚

私縁家中村左助養方之妹、竹原八左衛門妻ニ安政六年三月遣置申候処、病氣ニ罷成、家事之世話等届兼候ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段私より御達仕候、以上

六月

中村左助留守支配

石川 内右衛門

溝口 蔵 人殿

文久三年六月

右両通溝口蔵人より添翰にて達有之候付、機密聞え達込候事

213 文久三年七月 松下亀記妻末期離婚につき覚

覚

松下亀記妻は、有吉市左衛門殿妹にて御座候、亀記存命中申置候趣有之、熟談、相引離縁仕候、此段相達申候、以上

七月

尾藤 健之助

文久三年七月廿五日

右書付健助より添翰を以達有之候間、控置、機密之間え達込候事

八月
八月十二日

北村 甚九郎

右書付御裏方御用人より達有之候付、控置、機局へ達込候事

214 文久三年八月 嵯峨三郎右衛門養妹縁組後夫病死破談

につき覚

216 文久三年八月 出田作左衛門養妹離婚につき覚

覚

覚

私養方之妹、細川若狭守様御家来宮川喜代熊と縁組奉願候処、先月廿八日願之通被 仰出候、然処右喜代熊儀江戸へ罷登居、六月廿三日病死仕候段申来候付、右取組破談仕候、此段御達仕候、以上

八月

嵯峨三郎右衛門

私養方之妹、三宅新太郎と嫁娶仕置候処、家風ニ合申候付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

八月
八月十二日

出田 作左衛門

候事

文久三年八月七日

右書付監物殿より達有之候付、控置、機局へ達込候事

217 文久三年九月 志水又七養妹後妻離婚につき覚

215 文久三年八月 北村甚九郎二女離婚につき覚

覚

口上之覚

私二女、末松勘右衛門と縁組仕置候処、不有付二御座候間、申談、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

私養方之妹、日隈奎之允嫡子日隈次雄と後妻縁組仕置候処、病氣ニ罷成、往々不吞込二付、熟談を以、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、以上

文久三亥年也

九月

御使番也

志水 又 七

右又七儀今度御上京之御供にて罷登申候間、

私より御達仕候

私嫡子日隈次雄妻、志水又七養方之妹御座候処、病氣罷成、往々不吞込ニ付、熟談を以、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申、此段御達仕候、以上

九月

日隈 李之丞

志水又七留守支配

加賀山 権之允

文久三年亥九月廿一日

右書付平野九郎右衛門殿御中老也より添翰を以達有之候間、

控置、機密聞え達込候事

右書付大木織部より添翰を以達有之候付、控置、機密聞え達込候事

218 文久三年九月 河方辰五郎妻離婚につき覚

覚

河方半四郎養子河方辰五郎え、河喜多大平養方之妹と文久二年二月嫁娶仕候処、家風ニ合不申候付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

九月

弓削 尉左衛門

九月廿五日

右之書付溝口藏人より達有之候ニ付、控置、機局へ達込候事

219 文久三年九月 同 夫方口上覚

口上之覚

220 文久三年九月 井上平十郎妹後妻離婚につき口上覚

口上之覚

私妹、万延元年三月小林半右衛門と後妻縁組仕置候処、病氣ニ罷成、家事之世話等届兼申候間、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

八月

井上 平十郎

(朱書)

「本行之通達込候処、御奉行触之人躰ニ付機密聞えハ不用之用にて差返ニ相成候事、但已来共御物頭列以上機局達込にて、平士ハ同局え達込ニハ及不申候事」

九月廿六日

右之書付貞清文之助より達有之候付、機局へ達込候事

221 文久三年十月 渡辺一郎右衛門娘離婚につき口上覚

口上之覚

私娘、藤本常記嫡子藤本字之助妻にて御座候処、病氣ニ罷成、往々不吞込ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

十月

渡辺一郎右衛門

右書平野九郎右衛門殿より添翰を以達有之候付、控置、機密間え達込候事

222 〔元治元年〕六月 槇嶋半之允妻離婚につき縁家達

口上之覚

私縁家槇嶋半之允妻、中山金右衛門娘にて御座候処、病氣ニ罷成、家事之世話届兼候付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段私より御達仕候間可然様被成御達可被下候、以上

六月

高瀬 善兵衛

同月七日 別返事

機局達込、溝口蔵人方添翰控略

223 〔元治元年〕六月 斉藤文太夫伯母離婚につき達

覚

私伯母、安政四年二月小嶋伊左衛門え嫁娶仕置候処、病氣

ニ罷成、家事之世話等届兼、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

六月

斉藤 又太夫

右書付將監殿より添翰を以達有之候付、控置、機密間え達込候事

224 〔元治元年〕六月 中山金右衛門二女離婚につき口上覚

口上之覚

私二女槇嶋半之允後妻ニ縁組仕置候処、申談、相引離縁仕候、尤義絶ハ仕不申候、此段可然様被成御達可被下候、以上

六月十八日

中山 金右衛門

栖本 助七殿

右書付市左衛門殿・九郎右衛門殿添翰を以達有之候付、控置、機局へ達込候事

225 〔元治元年〕八月 宮部璫七郎嫡女後妻離婚につき上司

達

拙者支配宮部璫七郎嫡女緒方全助後妻ニ文久二年閏八月遣置候処、家風不吞込ニ付、申談、相引致離縁候、尤義絶ハいたし不申段相達候付、此段申達候、以上

八月十六日

郡 夷 則
有 吉 市左衛門

御奉行衆中

八月十六日

右之通達有之候付、機密聞え達込候事

慶応元年閏五月廿八日

右之通筑紫弥一左衛門八代御番頭也・宮川篤之助より添翰を以達有之間、機密聞打合他所縁組ニ付達込候事

228 慶応元年六月 尾藤九平妻離婚につき組より達

226 (元治元年)八月 中路内蔵之助育伯母離婚につき上司

達

御奉行衆中

齊 藤 又太夫

拙者組中路内蔵之助育之伯母、文久三年十一月細川大和守殿御家来中野嘉門太と嫁娶致置候処、家風ニ合兼、申談、相引離縁いたし候、尤義絶は不致段達出候、此段相達申候、以上

六月五日

右之通達有之候付、機密聞え達込候事

十二月八日

澤 村 八之進

御奉行衆中

右之通達有之候間、機密聞え達込候事

229 慶応元年九月 中根丈右衛門養妹離婚につき口上覚

口上之覚

227 慶応元年閏五月 一村市郎右衛門大伯母離婚につき覚

覚

私養方之妹、下河辺次郎太郎と縁組仕せ置申候処、内輪無抛子細御座候間、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

九月

中 根 丈右衛門

私大伯母儀、長崎宿元森隼太妻ニ縁組仕置候処、家風ニ合兼候付、相引離縁仕候、此段御達仕候、以上

閏五月

一村市郎右衛門

右書付市左衛門殿添翰を以達有之候付、控置、機局へ達込候事

口上之覚

私縁家下河辺次郎太郎儀、中根丈右衛門妹と後妻縁組仕引越せ置申候処、病氣ニ罷成申候間、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段可然様奉願候、以上

九月

魚住 源次兵衛

右書付堀丹右衛門方添翰を以達有之候付、控置、機密間え達込候事

231 慶応元年十二月 新居熊次郎妻末期離婚につき覚

覚

新居七右衛門名跡相統之二男新居熊次郎妻、三宅新兵衛妹ニて御座候処、熊次郎儀存生中存寄御座候間、及末期離縁仕、郷方え差返申候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

十二月

新居七左衛門留守支配ニ付

私儀御達仕候

笠

慎之助

右書付将監殿添翰を以達有之候付、控置、機密間え達込候事

232 慶応二年二月 沼田勘解由妹離婚につき口上覚

口上之覚

私妹、木村男吏嫡子木村辰馬と縁組仕置候処、今度申談之筋有之候付、相引離縁仕候、尤義絶は仕不候、此段相達申候、以上

二月廿日

沼田 勘解由

右書付田中典儀添翰を以達有之候付、控置、機局へ達込候事

233 慶応二年三月 大矢野次郎八養妹後妻離婚につき口上

覚

慶応二丙寅年

口上之覚

私養方妹、畑尾惣兵衛と後妻縁組仕置候処、病氣ニ罷成、家事之世話届兼申候付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不候、此段御達仕候、以上

三月

大矢野 次郎八

三月十一日

右書付御裏方御用人より添翰を以達有之候付、控置、機密間え達込候事

234 慶応二年三月 可児才助娘離婚につき口上覚

口上之覚

私娘、磯田十郎左衛門嫡子磯田左助と縁組仕置候処、不有付二付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕候、此段御達仕候、以上

三月

可児才助

三月十九日

右書付御裏方御用人添翰を以達有之候付、控置、機局え達込候事

235 慶応二年八月 藪図書養妹離婚につき口上覚

口上之覚

私養妹西山大衛妻にて御座候処、往々不吞込二付、熟談之上、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

八月

藪 図書

八月十八日

右書付達有之候付、控置、機局え達込候事

236 慶応二年八月 同 夫方口上覚

口上之覚

私縁家西山大衛妻、藪図書方養妹万延元年十二月嫁娶仕置

候処、往々不吞込二付、熟談を以、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

八月

藤崎喜八郎

八月十八日

右書付達有之候付、控置、機密問え達込候事

237 慶応二年十一月 氏家甚左衛門離婚につき縁家達

覚

私縁家氏家甚左衛門、松井直記隠居松井典礼養女と縁組仕置申候処、今度申談之筋有之、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

十一月

斉藤 又太夫

十一月廿日

右書付長岡監物殿より添翰を以達有之候付、控置、機密問え達込候事

238 慶応三年正月 下河辺常次娘離婚につき口上覚

慶応三年

口上之覚

私育之叔父下河辺常次娘を、行藤但馬守と縁組仕、引越せ置申候処、病氣ニ御座候間、昨廿五日相引離縁仕候、尤義

絶は仕不申候、此段可然様奉願候、以上、

正月

下河辺次郎太郎

正月廿八日

右書付大木織部方添翰を以達有之候間、控置、機局え達込候事

239 慶応三年正月 増田準次郎妻離婚につき覚

覚

私嫡子増田準次郎妻、浅香市郎左衛門養方之妹と縁組仕置候処、家風ニ合兼、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、可然様ニ被成御達可被下候、以上

二月

増田 権之助

240 慶応三年四月 道家角左衛門娘離婚につき覚

慶応三卯四月廿四日

一道家角左衛門副役也娘、平山伊一郎嫡子平山大九郎と縁組仕置候処、病氣ニ罷成、家事之世話届兼、相引離縁之段、此方之御奉行中諸願等控ニ委細有之候事

241 慶応三年六月 的場角兵衛妻離婚につき縁家達

覚

私縁家の場角兵衛之中寫次右衛門娘と当三月嫁娶仕置候之処、病氣ニ罷成、家事之世話等届兼候ニ付、申談、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

六月

飯田 才兵衛

慶応三年六月廿二日

右書付坂崎兵庫より添翰を以達有之候付、控置、機局へ達込候事

242 慶応三年七月 財津源之進養姪離婚につき口上覚

口上之覚

私養方之姪、入江佐左衛門後妻縁組仕置候処、病氣差発、家事之世話等出来兼候間、申談、相引離縁仕候、尤義絶は不仕候、此段御達仕候、以上

七月

御目付也

慶応三年七月八日

財津 源之進

右覚書木村男吏殿・尾藤金左衛門殿より添翰を以達有之候間、即日機局え達込候事

243 慶応三年七月 長尾権五郎妻離婚につき口上覚

口上之覚

私養子長尾権五郎儀尾藤健之助二女と縁祖仕置候処、病氣二付、相引離縁仕候、尤義絶は仕不申候、此段御達仕候、以上

七月

長尾 安左衛門

慶応三年八月三日也

右覚書木村男吏殿・尾藤金左衛門殿より添翰を以達有之候間、即日機局え達込候事

244 慶応三年八月 長谷川七兵衛妻末期離婚につき口上覚

口上之覚

長谷川七兵衛妻、兼松市之允娘にて御座候処、七兵衛儀存生之内存寄御座候間、及末期離縁仕、郷方え差返申候、此段御達仕候、以上

八月

神谷 矢柄

八月十一日

右覚書金左衛門殿・男吏殿添翰を以達有之候付、控置、機局え達込候事

但、覚書貴田権内より達有之筈之処、同人儀来ル十五日御祭礼出役付火改引入候間、振替相達候段も男吏殿・金左衛門殿より達有之候事

245 慶応三年八月 同 妻方覚

覚

私三女、慶応元年六月長谷川七兵衛妻二縁組奉願、引越居申候処、右七兵衛儀先月廿三日於大坂病死仕候、右末期二相引離別仕度段申遣候二付相引仕候、此段御届仕候、以上
八月十一日 兼松 市之允
八月十二日

右書付表則殿添翰を以達有之候付、控置、機密間え達込候事